

科目名	舞台音響技術概論Ⅱ		担当講師	梶野 泰範・千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ 専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	舞台機構調整作業筆記試験、実技試験の科目毎に理解を深め、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	「音源の基礎、声、楽器、音楽」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
2	5月15日	「舞台一般の知識、劇場・舞台の種類、歴史」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
3	5月22日	「音響の基礎知識、音の物理的知識、聴覚に関する知識」を復習し、習得する / 実技試験の練習			
4	5月29日	「音響機器の種類、構造、機能及び用途、電気」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の概要説明、練習			
5	6月5日	「音響機構調整法」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
6	6月12日	模擬試験を実践的に行う①			
7	6月19日	模擬試験を実践的に行う②			
8	7月3日	模擬試験を実践的に行う③			
9	7月10日	現場目線からの国家資格「舞台機構調整技能士」を検証し、現場での応用、実例について理解を深める			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材概論Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	機材の仕組みやスペックを学び、実際のPA作業に反映させる方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス			
2	5月16日	パワーアンプの種類と特性、スペックについて			
3	5月23日	スピーカーの種類と特性、スペックについて①			
4	5月30日	スピーカーの種類と特性、スペックについて②			
5	6月6日	スピーカーのチューニングについて			
6	6月13日	ケーブルとコネクタの種類と特性について			
7	6月20日	電源と電源ケーブルについて			
8	7月4日	ワイヤレスマイク、イン・イヤール・モニターについて			
9	7月11日	試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ローディー実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	4リズムのメンテナンス作業、DJセットを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス 電源と感電対策、テスターの使い方について			
2	5月16日	キーボードシステムの基本セッティングについて			
3	5月23日	Drセットのメンテナンス、ヘッドの交換、チューニングについて			
4	5月30日	ギター、ベースの弦高、オクターブピッチ、P.U.高さ調整について 弦と小物類と内部配線について			
5	6月6日	ギター、ベースの弦交換、メンテナンスについて①			
6	6月13日	ギター、ベースの弦交換、メンテナンスについて②			
7	6月20日	4リズムの基本的な演奏			
8	7月4日	DJセットのセッティング、操作方法について			
9	7月11日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	実践的なオペレート技術や機材のセッティング方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	授業ガイダンス			
2	5月17日	マイク鳴き比べ～マイキングによる音の違いを知る①			
3	5月24日	マイク鳴き比べ～マイキングによる音の違いを知る②			
4	5月31日	パワーアンプとスピーカーのセッティングについて			
5	6月7日	ハウスのスピーカーチューニングについて			
6	6月14日	モニターのスピーカーチューニングについて			
7	6月21日	モニターバランスについて			
8	7月5日	様々なPAシステムについて			
9	7月12日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	コンソールトレーニング		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	オペレートに必要なコンソールと周辺機器の操作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	授業ガイダンス			
2	5月17日	デジタルコンソール使用方法について			
3	5月24日	ライブ実習のデータ打ち込み			
4	5月31日	エフェクターの使用方法について			
5	6月7日	ライブ実習のデータ打ち込み			
6	6月14日	音作りについて			
7	6月21日	ライブ実習のデータ打ち込み			
8	7月5日	音源再生について			
9	7月12日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ライブ音響実習		担当講師	斎藤 康次・田上 涼	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンドステージ専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	
					270 分
修 得 目 標	基本的なライブPAの実践力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月30日	授業ガイダンス			
2	12月7日	仕込みの説明			
3	12月14日	ライブ実習①			
4	1月18日	仕込みの実践① ミックスバランスについて①			
5	1月25日	ライブ実習②			
6	2月1日	仕込みの実践② ミックスバランスについて②			
7	2月8日	ライブ実習③			
8	2月15日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	48時間中 17時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PLOT制作 I		担当講師	千葉 諭	
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	実践的な資料作成を行い、音響プランニング全体の知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	新入生歓迎ライブの資料の検証と、定期公演に向けた引き継ぎ資料の作成			
2	5月19日	資料作成に必要な情報収集について(出演者、編成、使用機材、会場、各所の担当者など)			
3	5月26日	会場の資料を基に、舞台図面の把握、搬入条件や導線、禁止事項について			
4	6月2日	出演者の資料を基に、PLOT、仕込み図の作成について			
5	6月9日	イベントの内容、進行に合わせた、転換プランの作成について			
6	6月16日	各セクションの資料と、音響全体のプランニングについて			
7	6月23日	在庫リスト、出庫する機材リストの作成について			
8	7月7日	定期公演に向けた準備(体制表、役割分担、必要資料の内容確認など)			
9	7月14日	定期試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	参考資料の配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	就職対象各専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	授業ガイダンス 就職活動状況について			
2	5月19日	受験促進、労働条件について(賃金、時間)			
3	5月26日	面接対策			
4	6月2日	受験促進、企業情報の提供			
5	6月9日	就職実習制度(企業研究)について			
6	6月16日	受験促進、メールの送り方、オンライン面接について			
7	6月23日	企業講話			
8	7月7日	OB講話			
9	7月14日	受験促進、企業情報の提供			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	無し				
注意事項	9時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者	授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	授業ガイダンス、時事研究について			
2	5月19日	直近のニュースについて①			
3	5月26日	直近のニュースについて②			
4	6月2日	直近のニュースについて③			
5	6月9日	直近のニュースについて④			
6	6月16日	直近のニュースについて⑤			
7	6月23日	直近のニュースについて⑥			
8	7月7日	直近のニュースについて⑦			
9	7月14日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(新入生歓迎ライブ前)		担当講師	齋藤 康次 / 千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務 / 音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	前期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	イベント実施に向けて連続的にイベント準備を進める事で、より実践的に知識や技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	ミーティング / スケジュール作成 / 役割分担 / 図面作成			
2	4月18日	図面作成 / 転換プラン作成			
3	4月19日	仕込み ~ 回線チェック / 転換プラン作成			
4	4月20日	台本読み合わせ / 使用音源チェック / サウンドチェック練習 / 転換練習			
5	4月21日	ミュージシャンと合同リハーサル / 打ち合わせ			
6	4月24日	テクリハ日 / スタジオサウンドと合同回線チェック / 転換練習			
7	4月25日	最終チェック / 転換練習 / 打ち合わせ			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(定期公演前)		担当講師	齋藤 康次 / 千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務 / 音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	各専攻間での連携、コミュニケーションを応用し、より実践的な技術、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	8月21日	ミーティング / 役割分担 / 作業スケジュール作成			
2	8月22日	転換プラン作成 / 図面作成 / 作業スケジュール作成			
3	8月23日	転換プラン作成 / 図面作成 / テクニカル講習①(コンソールについて)			
4	8月24日	転換プラン作成 / 図面作成 / テクニカル講習②(サウンドチェックについて)			
5	8月25日	ミュージシャン打ち合わせ / 図面作成 / ミーティング			
6	8月28日	模擬実践仕込み / ライブ実習に向けた準備			
7	8月29日	模擬実践(在校生バンドライブ実習) ~ 反省会			
8	8月30日	テクニカル講習③(サウンドチェックについて)			
9	8月31日	転換プランの修正 / 図面完成 / 機材リスト作成			
10	9月1日	転換プランの修正 / 機材リスト作成			
11	9月4日	転換プランの修正 / 機材リスト作成 / 打ち合わせ			
12	9月5日	校内リハに向けた準備 / 合同リハに向けた準備 / 機材の調整			
13	9月6日	ミュージシャンとの合同リハーサル / 校内リハ仕込み打ち合わせ			
14	9月7日	校内リハ用仕込み / 演出テクリハ①			
15	9月8日	スタジオとの合同回線チェック / 演出テクリハ② / 修正 / ミーティング			
16	9月11日	校内リハ準備 / 演出周り打ち合わせ / ミーティング			
17	9月12日	校内リハ準備 / 機材準備 / ミーティング			
18	9月13日	校内リハ最終チェック / 各所打ち合わせ			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	108時間中 37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				